

【民法】

問題1 以下の【事実】を読んで、下記の小問に解答しなさい。解答に当たっては、試験実施日に施行されている法令に基づき、特に指示のない限り、判例に照らして解答しなさい。なお、各小問は特に指示のない限り、独立の問題である。

【事実】

事務機械販売業者Aの従業員Bは、運転中の不注意により、Aの営業車で3歳の幼児のCをひいてしまい、死亡させた（以下「本件事故」という）。

Aの社内規則では、厳格に営業車の私用を禁じており、営業車のキーも厳重に管理されていた。本件では、たまたま営業先から直接帰宅したBが夕方までに会社に営業車を返せば会社にはわからないだろうと思って、友人とドライブ中に事故が起きていた。

一方、Cには、通っている保育園の保育士Dと手をつないで、数名の児童とともに散歩をしていたところ、他の児童が騒ぐことにDが気を取られたすきに、Dの手を放して車道に飛び出したという事情があった。

Cの逸失利益および慰謝料は、6000万円であり、本件事故の発生につきCの寄与の割合を認定するとすれば3割、Dの寄与の割合を認定するとすれば1割であった。

なお、以下の小問に解答する際には自動車損害賠償保障法上の責任や民法711条に基づく責任については考慮しなくてよい。

【設問】

小問1 Cの両親C'らは、Aに対して6000万円の損害賠償を請求しようとしている。C'らは、どのような法律構成に基づくことが考えられるか、要件を示して請求を立てなさい。

小問2 小問1の請求に対して、Aは、自身の損害賠償責任を否定しようとしている。Aがどのような反論をすることが考えられるか、解答しなさい。

小問3 小問1の請求に対して、Aは、仮に自身の損害賠償責任が認められるとしても損害賠償額の減額を主張しようとしている。Aがどのような反論をすることが考えられるか、解答しなさい。

小問4 小問1のC'らの請求の当否について、小問2、小問3のAの反論を踏まえて、解答しなさい。Aの損害賠償責任が認められるとした場合、いくら損害賠償額が認められるかについても解答しなさい。

問題2 以下の【事実】を読んで、下記の小問に解答しなさい。解答に当たっては、試験実施日に施行されている法令に基づき、特に指示のない限り、判例に照らして解答しなさい。

【事実】

2000年4月1日、Aから1000万円の融資（以下「I債権」という）を受けたBは、自身が所有する甲土地にI債権を担保するためI抵当権を設定し、登記を経由した。当時、甲土地には、Bの息子であるCが所有する乙建物が建っていたが、特に利用権は設定されていなかった。

2003年3月1日、Bが死亡し、Cは、甲土地の所有権を単独で相続するとともに、I債権の債務者としての地位も単独で相続した。同年4月1日、Cは、Dから3000万円の融資（以下「II債権」という）を受け、甲土地にII債権を担保するためII抵当権を設定し、登記を経由した。

2005年3月31日、Cは、I債権にかかる債務を返済し、I抵当権は抹消された。

2013年4月1日、Dは、II債権の弁済期が到来したものの、Cが返済できなかったため、II抵当権を実行し、Eが買受人となった。

【設問】

小問1 Eは、Cに対して乙建物を取り壊し、甲土地を明け渡すよう請求しているが、Cはこれを拒絶している。Cの反論について要件を示して解答しなさい。

小問2 小問1のCの反論に対するEの再反論を踏まえ、Eの請求が認められるか、解答しなさい。